

鳥取市地域公共交通総合連携計画（案）に対するグループインタビューの結果

1. グループインタビューの実施概要

	内容等	
実施方法	出席者に「鳥取市地域公共交通総合連携計画（案）」の概要を説明の上、これに対する市民・利用者の声をフリーディスカッション方式により聞き取る。	
実施対象	特に公共交通を必要としている高齢者、また今後の新たな移動手段確保のための先駆的存在であるNPO法人から意見を聞きとることとし、以下の2団体を対象とした。	
	NPO法人OMU	鳥取市老人クラブ連合会役員
実施日時	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年3月12日 ・18:30～19:30 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年3月13日 ・11:00～12:00
実施場所	・鳥取市立湖南地区公民館 大郷分館	・鳥取市高齢者福祉センター 事務室
状況写真	 	 

2. 鳥取市地域公共交通総合連携計画（案）に対する意見と市の考え方

以下表中の「意見に対する市の考え方」は、グループインタビューの場で説明を行った内容のほか、その場で説明しきれなかった内容も含めて、市の考え方として整理しています。

2 - 1. 「NPO法人OMU」のグループインタビューでの意見と市の考え方

1) 計画全体についての意見

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>既存のバス路線の減便・廃止のスケジュールを踏まえないと議論できないのではないか</u></p> <p><u>素人目に見ても“よい”と思うことを計画すべきだと思う</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 富山では、ライトレールを導入して乗車率もよい。JRの増便実験等も実施している。 鳥取市では、湖山循環線や市立病院行きバスなどを目玉として、実施するべきだと思う。 	<p>既存のバス路線の減便・廃止は、計画的に行っている訳ではなく、バス事業者が年度決算の状況によって判断するため、スケジュールはありません。</p> <p>なお、本計画は、減便・廃止対応だけではなく、市域全体の公共交通ネットワークとして、既存バス路線の維持や移動手段がない地域のサポート等を考えています。</p> <p>本計画（案）では、「基本理念」（3頁）を「健やかな市民生活とまちの発展を支える基盤として、持続可能な地域公共交通を創り・守り・育てます」としており、市民の皆様のニーズに沿った地域公共交通を目指しています。</p> <p>（「基本理念」は、最終的なとりまとめでは、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき「地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針」として整理しています）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対応は難しいと判断します。 今後の取り組みに反映したいと考えます。

2) 計画を進める上での意見

市の取り組み姿勢について

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>バス事業者と市が一体となって取り組むことが不可欠ではないか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> バスはバス事業者が主体になって運行するものであり、本計画を進めるにはバス事業者と市が一体になって取り組むことが不可欠である。 バス事業者との調整はつくのか。市が独自に取り組む決意なのか。それともバス事業者が中心になるのか。 	<p>本計画を進めるためには、バス事業者、市、そして市民等との連携が不可欠であると考えており、このことは基本計画（案）の「基本理念と目標」（2~3頁）で示しているところです。</p> <p>（「基本理念と目標」2~3頁：最終的なとりまとめでは、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、それぞれ「地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針」、「地域公共交通の目標」として整理しています。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画の基本的な考え方として、既に計画に盛り込んでいます。

<p><u>各施策について効果があるかどうかを見極めることが重要である</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 市としては、この計画により、公共交通の現状に何か変化を与えたい、アクションを起こしたい、そこで実験的な試みを実施してみたいということだと思いが、効果があるかどうかを見極めることが重要だと思ふ。 	<p>個別の路線をどうするかについては、まずはバス事業者から提案があることが望ましいと考えています。バス事業者が難しいようであれば、交通事業者への委託や市の自主運行、NPO法人等による運行などもあり、あらゆる手段を考えます。</p> <p>市としては、市民からは公共交通は便利が悪い、運賃が高いなどといった問題が指摘される中で、これらを改善すれば本当に公共交通の利用者が増えるのかどうかを検証する意味でも、今後、実証実験を行いたいと考えています。</p> <p>また、最低限必要とされる公共交通サービスを見極め、市としてこれをサポートしていきたいとも考えています。</p> <p>なお、各施策の効果については、適切に評価を行った上で、鳥取市生活交通会議での議論等をもとに本格実施や見直し等の見極めを行うとともに、その結果は公表します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取り組みに反映したいと考えます。
--	---	---

バス事業者の取り組み姿勢について

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>バス事業者の取り組み姿勢が重要である</u></p> <ul style="list-style-type: none"> バス事業者は赤字でも税金で補てんされるため、企業努力に欠けるのではないか。 現在のバスは、住民の生活に溶け込んでいるとは言えず、バス事業者の一般の人への対応も悪い。 	<p>本計画を進めるためには、バス事業者、市、そして市民等との連携が不可欠であり、日ノ丸自動車、日本交通へ積極的な取り組みを要請したいと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取り組みに反映したいと考えます。
<p><u>バスドライバーの態度を改善してほしい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ドライバーによっては、乗客を「乗せてやる」という態度である。 車でバスとすれ違う際も、ドライバーによっては態度が悪い。 	<p>日ノ丸自動車、日本交通に改善を要請したいと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取り組みに反映したいと考えます。

3) 施策についての意見

公共交通ネットワークについて

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>公共交通ネットワークを幹線・支線等に区分して再編していくことは難しいのではないか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通ネットワークを幹線系・支線系に区分して再編していくことは、考え方としてはわかるが、乗り換えが発生する、 	<p>本計画(案)の7頁に記述している通り、現在のバス路線は鳥取駅を中心として放射状に配置され、中心部から離れるに従い谷筋に沿って各路線が分散しているため、長距離運行の路線が多く、また重複区間も多いため、非効率な路線網である</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後取り組むなかで参考とします。

<p>運賃が割高になる、待ち時間も発生するという問題があり、現実的には難しいのではないかと思う。</p> <p><u>くる梨のような循環線は参考になる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 放射状の路線だけでなく、くる梨のような循環線は需要もあるのではないかと参考になると思う。 	<p>と考えています。</p> <p>このため、需要の多い区間（幹線系）と少ない区間（支線系）を区分して、別々のサービスを行うことが望ましいのではないかと考えています。</p> <p>ただし、ご指摘の通りデメリットや検討課題も多く、このことは鳥取市生活交通会議においても指摘されています。</p> <p>このため、本計画（案）では「計画の基本的な考え方」（2～11頁）の中で「地域公共交通ネットワークのあり方」（7～11頁）として記述しておりましたが、本計画では「地域公共交通ネットワークの方向性」として示し、今後、生活交通の確保状況と市財政のバランスなども見極めながら検討していくこととします。</p> <p>市中心部の縁辺部には、主要病院や大規模商業施設、工業団地などが立地しており、これらを連絡する外環状のバス路線が必要ではないかと考えています。</p> <p>このことから、本計画（案）では「環状バス、急行バスの運行」（7頁）を今後検討していくこととしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の検討内容として、既に計画に盛り込んでいます。
--	---	---

マイカーから公共交通への利用転換について

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>マイカーから公共交通への利用転換を促すことが重要である</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用者を増やすためには、マイカーからの転換が重要である。 全国的にクルマ社会にあるなかで、大都市のように公共交通が充実していないと、マイカーから公共交通への転換は難しいのではないかと。 	<p>マイカーからの転換も重要と考えていますが、一方で公共交通を必要としている方々が存在しており、その方々の移動手段を確保するという観点から、計画的に公共交通の維持・確保を図っていく必要があると考えています。</p> <p>このことから、本計画（案）では「市民が安心して暮らせる生活環境を支える地域公共交通」、「社会状況等の変化に対応できる持続可能な地域公共交通」を目標（3頁）として掲げているところです。</p> <p>また、マイカーからの転換を促すことについても、「マイカーに頼りすぎずにすむ、人・環境にやさしい地域公共交通」を目標の1つに掲げて、「エコ通勤の促進」（26頁）、「公共交通利用の啓発」（28頁）といった施策を検討することとしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関連施策を既に計画に盛り込んでいます。

<p><u>ノーマイカーデーの取り組みを強化してはどうか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマイカーデーの機会を多くしてはどうか。 ・県、市がノーマイカーデーを実施しているが、今は頓挫しているのではないか。実感として、特に相乗りなどは実施していないように思う。 <p><u>公共交通を積極的に利用しようという市民意識が重要ではないか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、マイカーを利用すると体力が劣るため、バス停まで歩こうといったことを、個人が考えることが必要と思う。 <p><u>マイカーから公共交通への利用転換に予算を使ってはどうか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線の維持のために税金を使うのではなく、マイカーから公共交通への転換を促すことに税金を使うことも考えてはどうか。 	<p>ノーマイカーデーは継続的に実施していますが、公共交通の運賃の問題などもあるため、参加者は多いとはいえない状況です。</p> <p>本計画(案)では、「エコ通勤の促進」(26頁)を今後検討していくこととしており、本計画をきっかけとして、市としても、より積極的にエコ通勤に取り組みます。</p> <p>公共交通に対する市民意識を高めることも極めて重要と考えており、本計画(案)では「公共交通利用の啓発」(28頁)を施策の1つに盛り込んでいます。</p> <p>公共交通に対する地域の愛着を高めるため、平成21年度に気高循環バスで車両ラッピング、愛称募集を行います。</p> <p>本計画(案)では、マイカーからの転換を促すため、「エコ通勤の促進」(26頁)、「公共交通利用の啓発」(28頁)のほか、「高齢者運転免許返納者への運賃割引など」(25頁)を今後検討することとしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討内容として、既に計画に盛り込んでいます。 ・関連施策を既に計画に盛り込んでいます。 ・今後の検討内容として、既に計画に盛り込んでいます。
--	---	--

バス運賃について

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>バスの運賃を下げて、少しでも多くの人に利用してもらってはどうか</u></p>	<p>市民アンケートでも「運賃が高い」という指摘が多くなっており、運賃制度の改善を検討課題の1つと認識しています。</p> <p>本計画(案)では、「3」バスタクシーの運賃制度改善の検討」(24頁)として示しているところです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討内容として、既に計画に盛り込んでいます。

バス車両の小型化について

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>バス車両を小型化してはどうか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスに乗っている人の数をみると、大型バスではなく小型バスで良いのではないかと思う。 ・小型バスに変えると経費も節減できるのではないか。 	<p>通常時の需要に対しては車両は大きすぎるかもしれませんが、雨や雪の日には利用者が多いため、これに対応するためには大型の車両が必要と、バス事業者からは聞いています。</p> <p>また、車両を小型化することで経費はいくらか減少すると思います。ただし、経費の大半は人件費であるため、大きな節減までには至らないと考えられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後取り組むなかで参考とします。

その他

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>今後、OMUがルート拡大することも考えられる</u></p>	<p>OMUがルート拡大する場合、既存のバス路線の廃止を伴うなどの問題が発生する可能性もあります。 ただ、市としては、そのように市民の意識が変わっていくことを期待しており、バス事業者ではなく地域へ補助を行うことも、今後の選択の1つとしてはあり得ると考えています。</p>	<p>・今後取り組むなかで参考とします。</p>

3) その他

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>「オンデマンド運行」とは何のことなのか分からない</u></p>	<p>「オンデマンド運行」とは、利用者がいるときだけ運行するシステムであり、現在、松上線（河内車庫～安蔵）、中河原線（栃本～大石）で導入しています。 ご指摘の通り、本計画（案）では一般の人にはわかりづらい言葉があるようなので、本計画には語句説明を加えます。</p>	<p>・本計画書に語句説明を加えます。</p>

2 - 2 . 「鳥取市老人クラブ連合会役員」のグループインタビューでの意見と市の考え方

1) 計画を進める上での意見

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>十分に実態を把握して、多くの人の声を聞いて、ルートを構想して欲しい</u></p> <p><u>本メンバーだけでなく、理事会などで新市域の方々からも意見を聞いた方が良い</u></p> <p><u>今後もこのような意見交換の機会を設けて欲しい</u></p>	<p>本計画（案）では、市民の皆様のニーズに沿った地域公共交通を目指しています。ご指摘の通り、地域の方々や利用者など関係するの方々のご意見をお伺いしながら、具体的な施策を進めていきたいと考えています。</p> <p>本計画（案）は、鳥取市生活交通会議での議論をもとに策定していますが、その委員として老人クラブ連合会並びに自治会連合会の各地域代表者に参加していただいています。</p> <p>今後、各施策を展開していく中では、状況に応じて、老人クラブをはじめ、地域の方々や利用者など関係するの方々からご意見をお伺いしながら、進めていきたいと考えております。</p> <p>上記のように、今後、各施策を展開していく中では、関係するの方々からご意見をお伺いしながら、進めていきたいと考えております。</p>	<p>・今後の取り組みに反映したいと考えます。</p> <p>・今後の取り組みに反映したいと考えます。</p> <p>・今後の取り組みに反映したいと考えます。</p>

2) 施策についての意見

高齢者のバス運賃について

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>高齢者の運賃割引を充実して欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路市などの他都市では、高齢者の運賃は無料である。 ・県、市には、高齢者割引について真剣に取り組んで欲しい。 ・無料は無理でも、せめて半額にしてはどうか。利用者も増えると思う。空のバスを走らせるよりは良いと思う。 	<p>高齢者の運賃を無料としているところの多くは、交通局（市営バスなど）を持つ自治体です。姫路市では、この制度の廃止を検討しているとも聞いています。高齢者の運賃を無料にすることについては、現時点では判断できません。ただし、運賃制度の改善については検討したいと考えています。</p> <p>本計画（案）では、「高齢者運転免許返納者への運賃割引など」（25頁）のほか、「ゾーン内均一運賃の導入」（24頁）、「運賃上限額の設定」（25頁）を今後検討することとしています。</p>	<p>・今後取り組むなかで参考とします。</p>

<p><u>高齢者向けの割引回数券を導入してはどうか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けの6カ月フリーパスがあるが、2万円もするため、とても購入できない。 ・今は、病院の薬も1ヶ月分出るため、高齢者の通院頻度も少なくてすむ。割引回数券として、手ごろな値段とすることはできないか。 <p><u>乗り継ぎの運賃割引を導入して欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近、生涯学習などで高齢者の活動も活発化しており、色々な場所へ出かける機会が多いため、乗り継ぎの運賃を考えて欲しい。 	<p>日ノ丸自動車、日本交通に提案します。</p> <p>本計画（案）では、「ICカードの導入」（27頁）を今後検討することとしていますが、これと併せて乗り継ぎ運賃の導入を検討したいと考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後取り組むなかで参考とします。 ・今後取り組むなかで参考とします。
---	---	--

個別路線について

意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>運賃の安い、湖山の循環線があれば良いと思う</u></p> <p><u>鳥取駅～岩倉を回遊する循環バスを考えて欲しい</u></p>	<p>平成21年度に、湖山周辺の循環路線の実証運行を行う予定です。</p> <p>今後、バス路線の再編成等を検討するなかで、参考とします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既に計画に盛り込んでいます。 ・今後取り組むなかで参考とします。